



平成 29 年 3 月 14 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 啓 治
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 管理本部副本部 浜 口 和 雄
長兼経理部長
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

平成 29 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 12 月 20 日に公表した、平成 29 年 7 月期（平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日）における第 2 四半期の連結業績予想数値と、本日公表の連結実績数値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 12 月 20 日に公表した平成 29 年 7 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 第 2 四半期連結業績予想との差異について

平成 29 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	40	20	89	19.28
当期実績値(B)	3,639	61	92	159	34.60
増減額(B-A)	339	21	72	70	
増減率(%)	10.3	53.7	364.3	79.5	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 7 月期第 2 四半期)	3,239	△347	△367	△384	△83.20

差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間は、スマートフォン・タブレット PC 等の IT 機器市場において、生産調整の影響が解消したことに伴い部品需要が旺盛に推移しており、積極的な受注活動を行ったことにより、売上高は前回発表予想を上回りました。

また損益面では、上記の売上高の拡大に加え、前期から取り組んできた歩留り改善・生産性向上等の収益改善施策を継続してきたこと及び前回発表時に見込んでいなかった為替差益等を計上したことから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益についても前回発表予想を上回りました。

2. 通期業績予想の修正について

平成 29 年 7 月期通期業績予想の修正（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,600	125	95	149	32.28
今回修正予想(B)	7,100	125	145	195	42.24
増減額(B-A)	550	0	50	46	
増減率(%)	7.6	0.0	52.6	30.9	
(ご参考)前期同期 (平成 28 年 7 月期)	6,406	△394	△476	△555	

差異の理由

スマートフォン向け製品や車載向け製品等の主力製品の部品需要は、引き続き高水準で推移する見通しであり、積極的な受注活動を継続することで、売上高は前回発表予想を上回ることが見込まれているため、売上高を上方修正いたします。

また損益面では、材料効率の改善を徹底するとともに、高速化の推進による生産性向上を行うことで、上半期同等水準の利益を確保できる見通しであるため、営業利益については前回発表予想を据え置き、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上方修正いたします。

以上